

## 「地域の会」委員ご質問への回答

・原子力規制庁、新潟県、柏崎市、東京電力(株) に対する 質問

「保養」についてどう思うか、様々なオブザーバーの方々から考えをおききたいです。ぜひ、やって欲しいのですが、やる気はあるのでしょうか？

被ばくで苦しんでいる子どもたちのことを真剣に考えたことはありますか？

災害事後の中長期対策において、被災者の生活支援で「心身のケア」への対応は重要なことと認識しており、「保養」も一つの手段ではないかと考えています。

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故による柏崎市への避難者の支援については、発災当時から現在も継続しています。

また、市内への避難者だけではなく、市は関係機関と連携し、福島県内で避難生活を強いられている子どもたちのために、平成23年秋には浪江町児童・生徒交流ツアー、平成24年夏は南相馬市児童のための夏休み支援プログラムと冬は南相馬市児童のための冬休み支援プログラムにおいて、市内の「こども自然王国」と「柏崎アクアパーク」に招き、宿泊や体験プログラムを行いました。

しかし、福島県や福島県内市町村の意向を踏まえた、制度と財源が確立していないことから、柏崎市が継続的に事業を進めることができないのが現状です。